



① お母さんの膝の上で絵本に満面の笑みを浮かべる赤ちゃん／② 絵本の世界に夢中になる赤ちゃんたち／③ 絵本の読み聞かせが始まると、じっと絵本を見つめていた／④ 楽しい読み聞かせに拍手！



特集

一本とのすてきな出会い— ブックスタート



「ブックスタート」図書館職員による読み聞かせの様子

今年で10年目を迎える町のブックスタート事業。町では、2006年4月から9カ月児相談で赤ちゃん和父母者を対象にブックスタートを行っており、今年で10年目を迎えます。身体測定や個別相談の待ち時間に図書館職員が本の読み聞かせの大切さを説明したり、絵本の読み聞かせを行った後に、4種類の絵本の中から好きな絵本を1冊プレゼントしています。絵本そのものをプレゼントすることで、どの家庭でも、すぐに絵本を開いて、赤ちゃんと一緒に楽しむことができます。

またプレゼントされる絵本は、9カ月の赤ちゃんでも楽しめるものとなっています。プレゼントされた絵本がもしかしたら初めて親子で読む絵本になるかもしれない。だからこそ楽しいひとときを過ごせるように、赤ちゃんのお気に入りの一冊となるように、親子のスキンシップを促す本やリズム遊びができる本などが厳選されています。ブックスタートにより、10年間で約500人を超える赤ちゃんに絵本が手渡されました。親と子の絵本を通じた触れ合いの輪が、現在も広がっています。

interview

絵本に興味を持つようになってきた



菅原 香保理さん・望叶 ちかちゃん (11区・9カ月)

絵本の読み聞かせが子どもの成長に良いと聞いたので、夜寝る前など時間があるときには読み聞かせをしています。最初は絵本に興味がないさうでしたが、最近は笑ったり、ページをめくったりするなど反応が出てきました。

interview

本に触れる機会を積極的に作ってあげたい



小野寺 祐子さん・璃優くん (12区・9カ月)

一人で絵本を開いたり、本の中の絵を見て笑うなど、幼いながらも絵本に興味を持ってきているようです。今後も読み聞かせや図書館を利用するなど、子どもが本に触れる機会を積極的に作ってあげたいです。

図書館職員が絵本を見せながらゆつくりとした口調で「いないいない ばあ くまちゃん ほらね いない いない ……ばあー」と赤ちゃんに語りかける。すると絵本をじっと見たり、笑ったり、さまざまな反応を見せる赤ちゃんたち。ページをめくるたびに現れる不思議な絵本の世界に夢中だ！

絵本で親子が触れ合うきっかけを

ブックスタートってどんな活動なの？

ブックスタートとは、「絵本」と「赤ちゃんと一緒に絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動です。赤ちゃん和父母者が、絵本を介して、心触れ合う時間を持たせたいと考えています。

町では、保健センターと図書館が連携し、9カ月児相談に合わせてブックスタートを実施しています。絵本に夢中になる赤ちゃんを見て、保護者が「こんなに興味を持つのか」と感心するなど、本の魅力を伝える良い機会となっています。

大好きな人と楽しいひとときを分かち合う

まだ字を読むことや、言葉の意味を全て理解することはでき

絵本は赤ちゃんの心を通わせることができるツール

絵本を開くとそこにはさまざまな絵があり、リズムのある言葉であふれ、赤ちゃんに語りかける要素がたくさん詰まっています。絵本は赤ちゃんと一緒にいる人が、赤ちゃんに優しい言葉で語りかけ、心を通わせるひとときを、ごく自然に作り出すことができる重要なツールなのです。